

MAGAZINE

2011 No.42



巻頭特集

Shizuki Asato Birthday Live 2011

# THE PRAYER V

姿月あさと バースデーライブ2011〔ザ・プレイヤー・ファイブ〕SPECIAL REVIEW

Shizuki Asato  
*Tea Party*

姿月あさと ティーパーティー2011  
【誌上レポート】

5・6月はイベント目白押し!! チケット締切間近!!

姿月あさと×榊原 大デュオコンサート | 没後30年 越路吹雪トリビュートコンサート  
小林公平没後1周年・チャリティースペシャル『愛の旋律～夢の記憶』

緊急発表!!

姿月あさと リサイタル at EBISU 「Actress」 Act.1

巻頭特集

# 姿月あさと バースデイライブ2011 〔ザ・プレイヤー・ファイブ〕SPECIAL REVIEW

3月7日(月)・8日(火)【大阪】ビルボードライブ大阪

◆1st/16:30~ ◆2nd/19:30~

3月10日(木)・11日(金)【名古屋】名古屋ブルーノート

◆1st/16:00~ ◆2nd/19:00~

3月13日(日)【東京】スイートベイジル139

◆1st/16:00~ ◆2nd/20:00~

2003年にスタートした姿月あさとセルフプロデュースライブ「THE PRAYER」。

その時々で異なる魅力を発する彼女の多面性と、回を重ねる毎に進化を続けるパフォーマンスを堪能するために、これまで何度もこのライブに足を運んできたというファンは多いことでしょう。

今回は姿月の41歳のバースデイ記念を冠した通算5回目となる「THE PRAYER」のライブのレポートを、初日のビルボードライブ大阪でのステージを中心にお届けいたします。

Shizuki Asato Birthday Live 2011

# THE PRAYER V

Shizuki Asato Birthday Live 2011

# THE PRAYER

「THE PRAYER」は、  
言えど観客が一緒に参加できる演出  
がお馴染みですが、今回は「Brazil」  
にそれが取り入れられました。  
姿月が客席に投げたホイッスル  
を受け取った人達で急遽結成され  
たのが「ずんちゃんバンド」(笑)  
曲中で指示に合わせてホイッスル  
を吹くのがメンバーの役目です。  
姿月のちまうと目まぐるしい演出の  
せいか、皆さん合わせるのに苦労し  
ていた様でしたが、明るいサンバのリ  
ズムに乗って、会場が楽しい雰囲気  
に包まれました。

## 新バンド結成!?

彼女のデイスコグラフィの中でも  
異色とされるトランスアルバム  
『SUMICA』からの選曲に、これから  
始まる新たな「THE PRAYER」  
の会場の期待が高まっていく中、三  
人のバンドメンバーが静かにステージ  
に登場しました。  
BGMの終了に合わせてアップラ  
イトベースの音が響き、ジャズ・アレ  
ンジを施された「夢想遊泳」のイン  
トロが流れる中、姿月も登場。  
黒色のベストとパンツという装い  
でシックに歌い出しました。  
2曲目は雰囲気を変えてアリのいい  
「Sing Sing Sing」ジャズナンバーを  
2曲続けたダンスの挨拶とメンバー紹  
介が入り、「What a Wonderful World」  
「ケセラセラ」へと続きます。

## 彼女の《今》に 魅了される

ホールに流れていた軽快な  
BGMがトランスミュージックに二転  
し、ホールの照明が落ちると、会場  
の空気は姿月あさとが作り出す世  
界に満ちるものへと、その在り様を  
変えて行きます。

オープニングBGMは、聴く者  
を深海へいざなうかの様な姿月の  
ボーカルが印象的なナンバー  
「Happiness」。



THE PRAYER V 曲目

- [1] 夢想遊泳
- [2] Sing Sing Sing
- [3] What a Wonderful World\*
- [4] ケ・セラ・セラ
- [5] Brazil
- [6] Granada
- [7] 青空の鳥、籠の鳥
- [8] 約束の花束
- [9] Actress
- [10] スカポロー・フェア
- [11] 夜明け
- 【アンコール1】 最後のダンス
- 【アンコール2】 Que Sara

\*3/7大阪(1st)  
 3/13東京のみ



姿月あさと  
 (Vocal)



大石真理恵  
 (Percussion, Piano, etc.)

TOKIE  
 (Bass)

遠山哲朗  
 (Guitar)



皆様からお預かりした義援金は  
 日本赤十字社にお届けいたしました。

3月13日の東京公演会場にて、姿月あさととClub-Zから来場の皆様に、東日本大震災で被災された方々への義援金をお願いしたところ、2回の公演で264,861円が集まりました。

皆様のご好意を3月16日に日本赤十字社にお届けしたことを、ここに報告いたします。



東日本大震災の発生により、東京公演は3月13日のみ、3月14日公演は中止となりましたが、6月7日への振替公演が決定しております。ご心配をおかけしましたが、あらためてお楽しみいただけるよう姿月は準備中でございますので、ご参加予定の皆様は今しばらく楽しみにお待ちください。

3月14日 東京公演の  
 振替について

「THE PRAYER V」を締めくくる最後の曲は「Que Sara」。姿月がこの歌に込めた「今を大切に、先を恐れず進んで行こう」というメッセージは、ファンの皆さんには、きくと届いたことと思います。

姿月あさとは  
 止まらない

アンコールの1曲目は、黒いコートを纏って登場した姿月がロック・アレンジでシャウトする、迫力の「最後のダンス」！

「THE PRAYER V」のアンコールの皆さんからClub-Zにお寄せいただいているご感想にも、この曲が強く印象に残ったという方がとても多いように、会場でも大喝采が沸き起りました。

そして「THE PRAYER V」を締めくくる最後の曲は「Que Sara」。

「Que Sara」は、昨年秋に開催された「ディナー・ミュージカル」の1シーンを再現しつつ、劇中で歌われた「青空の鳥、籠の鳥」「約束の花束」「Actress」の3曲があらためて披露されました。

これらの曲は全て秋元康氏がミュージカルのために書き下ろしてくださったものなので、本来は他の機会に耳にすることが叶わない曲ですが、残念ながらディナーショーに参加できなかった方にも、大きなプレゼントになったと思います。

そしてバンドメンバーとの素晴らしいアドリブセッションによる「スカポロー・フェア」を挟み、ライブはエンディングの「夜明け」へと。

「Granada」を歌い終えたところで姿月は一旦退場、真紅のドレスに着替えての再登場で、ステージの雰囲気はがらりと変わります。

このパートでは、昨年末に開催された「ディナー・ミュージカル」の1シーンを再現しつつ、劇中で歌われた「青空の鳥、籠の鳥」「約束の花束」「Actress」の3曲があらためて披露されました。

これらの曲は全て秋元康氏がミュージカルのために書き下ろしてくださったものなので、本来は他の機会に耳にすることが叶わない曲ですが、残念ながらディナーショーに参加できなかった方にも、大きなプレゼントになったと思います。

そしてバンドメンバーとの素晴らしいアドリブセッションによる「スカポロー・フェア」を挟み、ライブはエンディングの「夜明け」へと。